

事業番号	10 04 19	事業改善シート (25年度実施事業分)			<input type="checkbox"/> 予算要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	戸隠森林植物園・森林学習館管理費				担当課	部局	林務部	
						課・室	森林づくり推進課	
総合5か年計画	プロジェクト				E-mail	shinrin@pref.nagano.lg.jp		
	施策の総合的展開	4-1森林を活かす力強い林業・木材産業 4様々な主体の関わりによる森林の適正管理と多様な利活用の推進			実施期間	H10 ～		

1 事業の概要

目指す姿	戸隠森林植物園、森林学習館を県内外の方に利用してもらい、森林体験や森林学習等を通じて、森林・林業等に対する理解と啓発普及を図る。		
現状	戸隠森林植物園は動植物の宝庫であり、その植物園内にある森林学習館は、戸隠の自然や生き物を展示した施設である。戸隠森林植物園や森林学習館を利用して森林学習ができ、県内外の多くの方に利用されている。 利用者数 H20～H24(見込)5年平均 植物園 155,350人 学習館 29,174人		
県が関与する理由	県関与の必要性あり	【左記の説明、根拠法令等】 県が造成設置した施設である。また、県施設として、平成24年7月～平成29年3月の間のネーミングライセンス協定(県がネーミング・ライセンスパートナーから対価を得て、県施設に愛称を付与する制度による協定)を締結している。	
	県民との協働による実施：可能		

事業内容	① 成果目標(H25)						
	現況の入園(館)者数(H20～H24の5年平均)の3%増加を目指す。 ○戸隠森林植物園利用者数 160千人 ○森林学習館利用者数 30千人 H24に試行した森林学習館の利用満足度調査の全回答者数に対する満足との回答をした者数の割合89%を参考に目標設定 ○森林学習館が森林・林業等への理解に役立ったと思った人の割合 90%(アンケートを実施)						
	② 事業内容 (単位:千円)						
		項目	実施方法	H25事業実績	H25 (当初)	H25 (決算)	H26 (当初)
		森のまなびや活用促進	直接	戸隠森林植物園や森林学習館の特徴や魅力の学習会(1回)	11	11	50
	植物園・森林学習館管理業務委託	委託	植物園・学習館の管理(樹木、土石、草木の維持保管、巡視等) 施設維持管理(清掃、設備保守等)	8,163	8,163	8,138	
	パンフレットの印刷等	直接	パンフレットの印刷等	420	416	420	
	植物園内修繕工事	直接	危険箇所修繕等			1,384	
	合計			8,594	8,590	9,992	

事業コスト	区分(単位:千円)	23年度	24年度	25年度	26年度
	前年度繰越				
	当初予算	14,282	11,331	8,594	9,992
	補正予算				
	合計(A)	14,282	11,331	8,594	9,992
	国庫支出金				
	県債				
	その他()			800	800
	一般財源	14,282	11,331	7,794	9,192
	決算額(B)	14,096	11,120	8,590	
概算人件費					
職員数(人)	0.10	0.10	0.10	0.10	
概算人件費(C)	826	826	826	826	
概算事業費(B(A)+C)	14,922	11,946	9,416	10,818	

成果目標の達成状況					
項目	H24末(実績)	H25			H26目標
		目標	成果	達成状況	
植物園入園者数(人)	138,830	160,000	129,785	未達成	143,000
学習館入館者数(人)	27,726	30,000	23,294	未達成	28,500
森林・林業等への理解の役立ち度(%)		90	90	達成	90

目標に対する成果の状況	森林・林業への理解役立ち度では目標達成となったが、利用者数では森林植物園、学習館ともに目標数を下回り、未達成となった。H25年に相次いだ大型台風や、台風の接近で園内遊歩道柵干が破損するなど一部施設の破損・老朽化も影響したと考えられる。
-------------	---

2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input checked="" type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施
	26年度は「信州 山の日」に合わせてNPOと協力しながら利用促進に取組む。また、園内の危険箇所については修繕等工事を行う。